



特集 『ICAの東日本大震災被災者支援』



秋も深まり、朝夕は肌寒い季節となりました。皆様はいかがお過ごしですか。2010年から2011年にかけて大きな災害がいくつも重なり、その対応に追われている今日この頃です。チリ地震、ブラジルの洪水、ハイチ地震、そして東北の地震と津波と原発事故、東アフリカの干ばつ、トルコ地震、そしてタイの洪水と続けざまに災害が起っています。このような災害は予測不可能ですが、災害予防の生活設計は絶えずしなければならないと思います。災害救助にあたっておられた際に、残念なことに尊い命を落とされた方もおります。心からお悔やみを申し上げます。災害支援は危険と隣合せの中で活動します。「なぜそこまでして災害救援活動をするか」と聞かれると、私の場合は生後6ヶ月で生みの母を失ったことで、その後の人生は他の人の助けで生きられた、その感謝が今の活動につながっています。この災害の多い世界に生きる私たちは、どのように変化しているのでしょうか。変化の兆しを予測しているニール・ドナルド・ウォルシュの言葉をご紹介します。

「現在の文化の成功はどのぐらい自分が得たかで測られている。どのぐらい名誉や金や力や所有物を蓄積されたかで測られている。新しい文化の成功は、どれくらい人に蓄積させたかで測られる。人に蓄積させればさせるほど、貴方も苦勞なく蓄積出来るようになる。人生は得るためにあるのではなく、与える為にある。そのためには人を許す必要もある。期待していなかったものをくれなかった相手を赦さなければならない。

未来の経済は個人的な利益目当てではなく、個人的な成長を目的に物事を行うこと。それが自分の利益なるからだ。自分が大きく立派になれば物質的な「利益」は後から自然についてくる。平等であろうとする事も、知的存在の基本的な本能ではない。同一性よりも独自性を表現する。最後の目的は新たな真の自分を再生すること。」

これは彼の文章の概略ですが、将来の私たちの文化や経済の指針は相互扶助、助け合いなど、まさに私たちが東北の災害支援で体験したことです。災害救助活動を通して、互いに助け合うという目的について新たな意識を持って望んでいます。

CONTENTS

P.3 国際支援活動報告

インド(農村開発事業)
ハイチ(学校建設事業)

P.4-5 特集 東日本大震災

記録写真で振り返るICAの被災者支援

P.6 国際協力活動報告

ケニア(農業技術移転事業)
グローバルフェスタ2011

P.7 寄付・支援のお礼

支援企業一覧

P.8 ICAからのお知らせ

ICA活動へのご支援のお願い
ファシリテーター養成講座のご案内

「東アフリカ緊急支援展開中！」

東アフリカの干ばつ被災者支援



写真(上)
支援物資を待つ人々



写真(右)
配布する物資を準備する



写真(左)
配給された水をロバで運ぶ家族

写真(右)
受け取った物資を手で徒歩で家に帰る人々

「インド事業の活動報告」

マハラシュトラ州プネ県における貧困削減のための農村開発事業

プロジェクト地であるムルシ地区は、デカン高原の一部であり四方を山に囲まれた平地の少ない地域である。農業に不適な土地柄のせい、事業を開始する以前農民は小さな農地で雨季に米のみを栽培しながら貧しい生活を強いられていた。そこにICAは、2008年からJICAの資金協力のもと、草の根事業として、灌漑設備の導入による二毛作や酪農の指導などを中心に活動を行ってきた。今年事業は最終年度を迎え、この3年で村の景色は、乾季でも灌漑による二毛作や植林の成果により緑に覆われるようになり、また酪農業の指導にも力を入れたこともあり、大きな牛舎が作られた家々も見られるようになった。このような景色の変化以外にも、村民の「やればできる」という意識が生まれたことから、村は見違えるように活性化した。ICAはこの住民の変化を維持すべく、現在事業定着に向けて講習会など内面強化に努めている。

写真(上) 灌漑によって農地に水が引かれて行く

写真(下) 雨季に牛を使って田おこしが行われる



「ハイチ事業の活動報告」

兵庫県義援金ハイチ小学校建設プロジェクト

事業地であるプチゴワープは、首都ポルトープランスから南西に車で約2時間の場所に位置する。学校建設予定地のあるアリオム地区は、プチゴワープを通る主要道から山間部を目指し8kmぐらい登った地区である。山道の地区一帯には約5000人が都市生活とはまったく異なる農耕生活をしている。地区一帯に電気・水道・ガスはなく、インフラ整備は、地区のわずかな出資で作られたトラック(タイヤが埋まらない様に道にセメントを敷いたもの)が道のところどころにあるのみである。アリオム地区の就学予定児童は、地震で倒壊した学校に通っていた約300人である。地震によって学校を失った児童達は、首都ポルトープランスの学校へ転校するか、徒歩で山道を2時間かけて別の学校へ通っている。首都ポルトープランスの学校へ転校した生徒は全体の2割程度であるが、そのうち1割は家庭の事情により首都での生活をあきらめざるを得ず、わずかに約1割弱が現在も首都での学校生活を送るにとどまっている。今年の12月中には学校建設が終了し、年明けからは真新しい教室での授業が再開できる予定である。待ちきれない子供達と関係者達により、実はもう青空教室での授業も時々行われている。

写真(上) 完成したポルトープランスの1校目の学校

写真(下) プチゴワープの学校建設地にて子供達と





3/17(木) 東京
祖師谷商店街にて買出し



3/19(土) 東京
トラックに荷物を積み込み出発



3/20(日) 宮城県名取市
名取市長からの聞き取り調査



3/20(日) 宮城県名取市
ゆりあげ地区の被害状況



3/20(日) 宮城県名取市
避難所にて聞き取り調査



3/21(月) 宮城県亶理町
避難所にて聞き取り調査



3/22(火) 宮城県仙台市
自衛隊本部を訪問



3/23(水) 宮城県気仙沼市
市役所の掲示板



3/24(木) 宮城県亶理町
ウクライナのメディアの取材



3/28(月) 宮城県名取市
トラックに応援メッセージ



3/28(月) 宮城県名取市
続々と到着する支援物資

写真で振り返る、ICAジャパンの 2011年3月～2011年



4/14(木) 福島県新地町
避難所にて聞き取り調査



4/17(日) 宮城県亶理町
思い出の品を洗うボランティア



4/19(火) 宮城県新地町
住民復興ワークショップ



4/21(木) 宮城県塩釜市
役場の前に掲げられた鯉のぼり



4/21(木) 宮城県亶理町
避難所にて聞き取り調査



6/17(金) 福島県南相馬市
野菜・果物等の給食支援



6/17(金) 福島県南相馬市
学校へジュースの支援



7/13(水) 福島県相馬市
漁協事務所建設支援



7/13(水) 福島県新地町
仮設住宅にて聞き取り調査



9/9(金) 福島県新地町
小学校に扇風機を支援



9/9(金) 福島県相馬市
被災したミシン工場が再開



11/14(月) 福島県相馬市
支援して下さった
フィッシュ財団のフィッシュ氏と漁協にて



11/14(月) 福島県相馬市
漁協でのワークショップの様子



3/20(日) 宮城県名取市
仮設住宅にて物資支援



3/21(月) 宮城県亶理町
仮設役場にて聞き取り調査



3/21(月) 宮城県亶理町
到着した自衛隊の炊飯車



3/21(月) 宮城県亶理町
流された車が民家に



3/24(木) 宮城県亶理町
捜索の様子



3/24(木) 宮城県亶理町
自衛隊が用意したお風呂



3/26(土) 福島県新地町
仕分けされた支援物資

東日本大震災被災者支援 11月8カ月の記録



4/14(木) 福島県福島市
市長と面会



4/14(木) 福島県相馬市
市職員から聞き取り調査



4/14(日) 宮城県名取市
あげ地区にて



4/25(月) 福島県相馬市
相馬双葉漁港の被害の様子



4/28(木) 宮城県山元町
住民復興ワークショップ



5/12(木) 宮城県桂島
冷蔵庫を船で運ぶ



7/30(土) 福島県新地町
仮設住宅にて花植え作業



8/20(土) 宮城県山元町
第二回住民復興ワークショップ



8/20(土) 福島県新地町
仮設に植えた花が大きくなっていた



10/7(金) 福島県南相馬市
つながりぬくしま缶バッジを作ったデイサポートピーなつのみなさん

「ケニア事業の活動報告」

農場オーナーシップ向上と農業技術移転フォローアップ

プロジェクト地であるイシンニャは、首都ナイロビから南に100km程に位置し、遊牧生活と畜産業で生計を立てるマサイ族が住む地域である。この地域に住むマサイ族は、今まで放牧のみで生活してきたが、気候変動による深刻な干ばつと政府の保護区整備により、定住生活をしなければならなくなった。ICAは国際協力機構(JICA)のサポートを受け、2006年5月～2009年3月まで、イシンニャ地区12カ村の地域住民に対し、農業技術移転研修を行い、各村に1エーカー(0.4ヘクタール)の実験農場を設置した。



2010年4月からはフォローアップ事業としてオーナーシップ向上と農場で雨水を溜めるための貯水池の修繕を行っている。当事業は2011年9月で終了するが、ICAはイシンニャ県における農村開発事業を継続する予定である。

写真(左)
農作業を行う
マサイ族の女
性達



写真(右)
農業技術研修の
様子

「グローバルフェスタ2011」 福島県産の梨、リンゴ、ジャムなどが完売しました!



写真(上)
福島支援コー
ナーに並ぶ梨、りんご、
ジュース、雑貨など

写真(右)
インド、アフリカ、
ペルーなどの雑貨が
並ぶICAのテント



10/1(土)、2(日)に日比谷公園にて毎年恒例のグローバルフェスタが開催されました。

今年は、現在支援中の福島県より、果物、食品、手作り雑貨などを買い取り、販売しました。

現地の人同様に、私達スタッフも大量に仕入れた梨やリンゴが売れるかどうか心配していましたが、試食をしたお客さんはみなさん「美味しい!」と迷わず買ってくださいました。食品以外にも、被災した福島県相馬市の女性ミシンの会のみなさん手作りのもんぺや帽子や名刺入れやポーチなどの小物、そして南相馬市の障害者施設の方々手作りの福島応援缶バッジなど、たくさんの商品を販売し、座る暇もない程の大盛況でした。もちろん毎年人気のインド、アフリカ、ペルーなどの雑貨やアクセサリもたくさんお買い求めいただきました。この売上金はすべて、福島への支援先に寄付させていただきました。福島のみなさん、風評被害なんかには負けずに、一緒にがんばりましょう!

支援活動にご協力いただきました企業の皆様、 本当にありがとうございました。

◆東日本大震災支援物資◆

【敬称略／あいうえお順】

アメリカア(衛生用品)



宮城県農家の伊藤さん(お米)



ECCOジャパン(スニーカー)



JXホールディングス(童話集)



花王(衛生用品)



カシオ計算機(デジタルカメラ・時計)



かどや製油(すりごま)



金野タオル(タオル)



クラレ(衛生用品)



グループセブジャパン(ティファール鍋・ケトル)



国連世界食糧計画(食糧・水)



資生堂(シャンプー石鹸等)



シャープ(家電)



昭和理化学器械(ソーラークッカー)



ソフトバンク(携帯電話)



全日空(ジュース)



ダイキン工業(空気清浄機)



高橋書店(日記帳)



東芝(家電)



パナソニック(パソコン)



パルシステム東京(石鹸・カイロ等)



ブリタジャパン(浄水器)



三菱マテリアル(畳)



ルーテル教会(食品・家電)



ロート製薬(消毒液など)



モルディブ大使館(ツナ缶)

ICAの活動へのご支援をお願い致します!

ICAは、現在行っているアフリカ支援、ハイチ支援、インド支援、東北支援に加えて、今後、フィリピンでの女性センターの建設調査や、ベトナムでの湖浄化プロジェクトなどの事業を予定しています。また、ネパールでの平和構築支援やブラジルでのアマゾン生物多様性保護事業なども計画しています。みなさまの温かいご支援が直接世界の支援につながります。どうかご協力をよろしくお願い致します。(ご寄付を頂く際には、メールまたはお電話にてご連絡ください。)

寄付金お振込先口座：三井住友銀行 成城支店(222) 普通 3757300
口座名義：特定非営利活動法人アイシーエー文化事業協会
：郵便振替 00130-7-760837 ICA文化事業協会

ファシリテーター養成講座のご案内

この度、久しぶりにファシリテーター養成講座を開講<2011年12月11日(日)~12(月)>致します。今回は、NPO法人まちづくり協会との共催で、講義とワークショップで構成される2日間コースです。

国際協力やまちづくりなど、ICAジャパンが国内外で行なう活動の根底にあるのがファシリテーション技術です。参加者を自然に会議に巻き込み、発言を促す雰囲気づくりや進行方法などを学びます。学校、職場などで結論の出ない会議の経験を持つ方、ぜひこの機会にICAのファシリテーション技術を習得してみませんか?

詳しい情報はWEBサイトのパンフレットをご覧ください。定員になり次第締め切りとなりますので、お申し込みはお早めに。お申し込み・お問い合わせは、ICAジャパン事務局まで。

編集後記

あれほど暑かった夏がいつの間にか秋、そして冬の足音が聞こえてくる季節へと移り変わり、ようやくニュースレターを1年半ぶりに発行することができました。3月に東日本大震災が起り、本格的な日本の支援を初めて経験させていただきました。この震災により、何かしなくては、何かしたい、と今までボランティアや支援活動には縁のなかった方々が多く支援活動にかかわるようになったことがとても印象的でした。最近メディアなどでの報道も少なくなってきた事もあり、あのときのなんとかしなくてはという気持ちが少しずつ薄れてきているのではないかと自戒の意味を込めてこの文章を綴らせていただきます。やはり日本が元気でないと、元気に外に出られません。がんばろうにっぽん!

ICA事務局



10月22日に行われたICA総会の理事会とワークショップの様子